

第7次地域福祉活動計画の令和7年度の進捗状況について

【「R7委員会の評価」欄の○△×について】
 ○ 計画どおり、概ね計画どおりに進んでいる
 △ 計画に遅れがみられる
 × まだ、着手できていない

施策の方向性1 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

No.	取組項目	事業概要	取組内容	当初の計画（上段）				R7決算額	R7委員会の評価	所管
				R4実績（下段）	R5実績（下段）	R6実績（下段）	R7実績（下段）			
1	ボランティア活動等の推進	市民のボランティア活動への参加を促すため、情報提供・啓発や講座を開催し、新たなボランティア活動や地域活動の担い手となる人材を確保・育成します。 また、判断能力が十分でない方が安心、安全でより豊かな生活を送れるよう、将来、市民後見人として活動することを希望する住民に、成年後見人等に必要な知識等を習得する機会を提供します。	<ボランティア> ボランティアの相談・登録を行い、ボランティア情報誌等を作成して、ボランティア情報を提供します。 また、新たにボランティア活動に参加する人やすでに登録しているボランティアに対し、多種多様なボランティア講座を開催し、人材の確保・育成に努めます。 <市民後見人> 25歳から70歳までの住民に対し、基礎編、応用・実務編として2か年度に渡り、成年後見人等に必要知識等を習得する養成研修を実施します。	新規ボランティア登録者数180人 市民後見人養成者延べ205人 市民後見人活動者延べ36人	新規ボランティア登録者数200人 市民後見人養成者延べ205人 市民後見人活動者延べ38人	新規ボランティア登録者数250人 市民後見人養成者延べ225人 市民後見人活動者延べ40人	新規ボランティア登録者数250人 市民後見人養成者延べ225人 市民後見人活動者延べ42人	<ボランティア> (市補助・会費・共募・V基) 3,606千円 <市民後見人> (受託金) 234千円	<ボランティア> 新規ボランティア登録者数が目標値を下回りました。 引き続き、多種多様なボランティア講座を開催し、人材の確保に努めます。 <市民後見人> 概ね計画どおり進捗しています。	VC 後見C
2	福祉教育の推進	小・中学校の児童・生徒や住民が地域福祉へ関心を持ち、理解を深めてもらうために、学校や地域で行う福祉教育を推進します。	学校や地域等に福祉体験用員の貸出、本会職員による出前講座等を行います。 また、学校における福祉教育が円滑に行われるよう、学校教員や小・中学校の児童・生徒に対し情報誌や冊子を配布するとともに、教員向け福祉教育講座を開催します。 なお、毎年、市立小・中学校6校を3年間、ボランティア活動推進協力校として指定し、企画・提案や助成金を通じて、学校が行う福祉教育を支援します。	情報誌の発行 貸出・講師派遣等50件	情報誌の発行 貸出・講師派遣等55件	情報誌の発行 貸出・講師派遣等65件	情報誌の発行 貸出・講師派遣等75件	(市補助・会費・共募・V基) 3,487千円	市内の小・中学校の他、専門学校や福祉施設、地域団体等へも福祉体験用員を貸出しており、計画どおり進捗しています。	VC
3	成年後見制度の普及・啓発	認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守ることができる成年後見制度について広く周知を図ります。	ホームページによる情報提供、パンフレットの作成、講習会の開催及び講師の派遣を実施します。	講習会8回 講師派遣10回	講習会8回 講師派遣12回	講習会8回 講師派遣15回	講習会8回 講師派遣18回	(受託金) 216千円	概ね計画どおり進捗しています。	後見C
4	地区部会活動従事者に対する研修の実施	地区部会活動に有益な知識やスキルを提供できるよう、地区部会従事者に対する研修を実施します。	アンケート等により地区部会の意見・ニーズを収集し、研修を実施します。	研修会4回	研修会4回	研修会4回	研修会4回	(会費・共募) 162千円	計画どおり進捗しています。	推進班
5	民生委員・児童委員に対する研修の実施	民生委員・児童委員（以下「主任児童委員を含む。」）に対し、民生委員・児童委員としての人格調達の向上に職務を行ううえで必要な知識及び技術の修得のため、民生委員・児童委員の活動方法、活動上の心得、社会福祉の動向等について必要な研修を実施します。	<民生・貸付班> 民生委員・児童委員全体研修、地区民児協会長・副会長研修を年1回実施します。 <研修C> 主任児童委員研修を年1回実施します。 改選時（3年毎）に新任民生委員・児童委員を対象とした新任研修を実施します。	研修会4回 年4回実施（市3回、各区1回） 若菜区は未実施 延べ参加者256人	研修会3回 年4回実施（市3回、各区1回） 延べ参加者485人	研修会3回 年4回実施（市3回、各区1回※美浜区2回） 延べ参加者312人	研修会4回 [地区民児協会長・副会長研修] 《講師》国關医療福祉大学大学院医療福祉分野責任者 教授 小林雅彦氏 《期日》令和7年11月11日（火） [市民後見人養成者研修] 《講師》社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院 主任教授 山下 興一郎 《期日》令和8年2月18日 <研修C> 新任民生委員・児童委員研修実施（令和7年12月14日（日）） ・参加者294人 主任児童委員研修実施（令和8年1月14日（水）） ・参加者109人	<民生・貸付班> (受託金) 483千円 <研修C> (受託金) 443千円	<社会福祉班> 概ね計画どおり進捗しています。 <研修C> 計画どおり進捗しています。	社会福祉班 研修C

施策の方向性2 身近な地域で支援が届くしくみをつくる

No.	取組項目	事業概要	取組内容	当初の計画（上段）				R7決算額	R7委員会の評価	所管
				R4実績（下段）	R5実績（下段）	R6実績（下段）	R7実績（下段）			
6	見守り活動の促進 《重点》	住民同士による日常的な見守りや安否確認等が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けて支援します。	地区部会エリアで見守り活動が拡充するよう、ノウハウの提供や助成を通じ支援します。	35地区部会エリア 支援 (1地区増・計34地区部会エリア)	37地区部会エリア 支援 (7地区増・計41地区部会エリア) 見守り活動マニュアルを改訂し、地区部会に配付するとともに本会ホームページに掲載しました。	39地区部会エリア 支援 (4地区増・計45地区部会エリア)	42地区部会エリア 支援 (1地区増・計44地区部会エリア)	(共募) 1,245千円	44地区部会(計293町内自治会)となっており、概ね計画どおり進捗しています。 引き続き、地区部会や町内自治会へ働きかけ、拡充を図っていきます。	○ 推進班
7	地域支えあい活動の促進 《重点》	住民同士による生活支援等の支えあい活動が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けて支援します。	地区部会エリアで支えあい活動が拡充するよう、ノウハウの提供や各種助成金制度を活用し支援します。	27地区部会エリア 支援 (1地区増・計26地区部会エリア)	28地区部会エリア 支援 (1地区増・計27地区部会エリア) 支えあい活動マニュアルを改訂し、地区部会に配付するとともに本会ホームページに掲載しました。 既存の支えあい活動のほか、新たに「家庭ごみ排出代行事業」を立ち上げた地区部会があります。また、新たに1地区部会エリアで活動が始まりました。	30地区部会エリア 支援 (増減なし・計27地区部会エリア)	32地区部会エリア 支援 (1地区減・計26地区部会エリア)	—	計画に遅れが見られます。 引き続き、地区部会や町内自治会への働きかけを行い、新規立ち上げに向けて支援してまいります。	△ 推進班
8	子どもの居場所づくりへの支援	子どもたちが安心して過ごすことができ、人や社会と関わる力や自己肯定感を育むことができるよう、子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体を支援します。	子どもの居場所づくりに取り組む団体同士をつなぎ情報共有ができる場をつくり、ホームページ等での情報発信などによって、子どもの居場所づくりの創設と活動継続に向けた支援を行います。	ホームページ更新 情報交換会開催 千葉市と千葉市こども食堂ネットワークと本会による情報交換会を開催しました。 本会のホームページに、こども食堂欲しいものリストを掲載するとともに、各種助成金情報を周知・申請の支援を行いました。 また子ども食堂ネットワーク主催の子ども食堂運営者向け研修やイベントを共催しました。	ホームページ更新 情報交換会開催 千葉市と千葉市こども食堂ネットワークと本会による情報交換会を開催しました。 本会のホームページに、こども食堂欲しいものリストを掲載するとともに、各種助成金情報を周知・申請の支援を行いました。 また子ども食堂ネットワーク主催の子ども食堂運営者向け研修を共催しました。	ホームページ更新 情報交換会開催 千葉市と千葉市こども食堂ネットワークと本会による月例情報交換会に参加しました。 本会のホームページに、こども食堂欲しいものリストを掲載するとともに、各種助成金情報の周知・申請の支援を行いました。 また、同ネットワーク主催の子ども食堂運営者向け研修を共催しました。	ホームページ更新 情報交換会開催 千葉市子ども食堂ネットワーク(以下「ネットワーク」)の月例情報交換会に参加するとともに、本会ホームページ内「子ども食堂欲しいものリスト」の継続掲載や民間団体等助成金申請を希望する子ども食堂への申請補助、ネットワーク主催事業との共催など、実施団体との関係づくりに努めました。 また、「子ども食堂を立ち上げたい」という相談者への支援を行いました。	(共募) 8千円	概ね計画どおり進捗しています。	○ 推進班

施策の方向性3 いきいきと暮らせる地域をつくる

No.	取組項目	事業概要	取組内容	当初の計画(上段)				R7決算額	R7委員会の評価	所管	
				R4実績(下段)	R5実績(下段)	R6実績(下段)	R7実績(下段)				
9	ふれあい・いきいきサロンの定座 《重点》	高齢者が生きがいをもって、いきいきと暮らしていけるよう、地区部会が実施するサロン活動を支援します。	助成等を通じ、地区部会を支援し拡充に努めるとともに、施設福祉部門の専門職をサロン活動に派遣し、活動内容の充実を図ります。	50地区部会 3,000回 参加者・ボランティア延べ51,000人	57地区部会 3,420回 参加者・ボランティア延べ58,140人	64地区部会 3,840回 参加者・ボランティア延べ65,200人	65地区部会 3,900回 参加者・ボランティア延べ66,300人	(市補助・会費・共募、その他) 6,197千円	前年度実績(66地区部会4,005回)に比べて実施地区部会数は減少しましたが、実施回数が増加し、目標値を達成しました。なお、参加者・ボランティア数も前年度(58,765人)より増加しましたが、目標値には至りませんでした。引き続き、地区部会や町内自治会への働きかけを行い、活動継続、新規立ち上げに向けて支援します。(助成金交付基準緩和終了)	○	推進班
10	ふれあい・子育てサロンの促進	身近な地域で交流を望む子育て中の親がほっとするひと時を過ごすため、地区部会が実施するサロン活動を支援します。	助成等を通じ、地区部会を支援し拡充に努めるとともに、施設福祉部門の専門職をサロン活動に派遣し、参加者が抱える相談に対応するなど活動内容の充実を図ります。	35地区部会 455回 参加者・ボランティア延べ13,650人	44地区部会 572回 参加者・ボランティア延べ17,160人	53地区部会 689回 参加者・ボランティア延べ20,670人	54地区部会 702回 参加者・ボランティア延べ21,060人	(市補助・会費・共募) 923千円	前年度実績(51地区部会602回)に比べて実施地区部会数は同数でしたが、実施回数が増加しました。なお、参加者・ボランティア数については、前年度(10,735人)より増加しましたが、目標値には至りませんでした。引き続き、地区部会や町内自治会への働きかけを行い、活動継続、新規立ち上げに向けて支援します。(助成金交付基準緩和終了)	△	推進班
11	ふれあい・散歩クラブの促進	高齢者が生きがいをもって、いきいきと暮らしていけるよう、気軽に始めることができる散歩クラブを実施する地区部会を支援します。	助成等を通じ、地区部会を支援し拡充に努めるとともに、施設福祉部門の専門職をクラブ活動に派遣し、活動内容の充実を図ります。	25地区部会 450回 参加者・ボランティア延べ5,850人	27地区部会 486回 参加者・ボランティア延べ6,318人	29地区部会 482回 参加者・ボランティア延べ6,786人	30地区部会 520回 参加者・ボランティア延べ7,020人	(市補助・会費・共募) 438千円	前年度実績(23地区部会465回)に比べて、実施地区部会数は増加しましたが、実施回数、参加者・ボランティア数ともに目標値を不回復しました。引き続き、地区部会や町内自治会への働きかけを行い、活動継続、新規立ち上げに向けて支援します。	△	推進班
12	ふれあい食事サービス事業への支援	ひとり暮らし高齢者などを対象に、見守りを兼ねた配食や、会費を伴う交流事業を行う地区部会に助成・援助します。	助成等を通じ、実施地区部会を支援します。また、開催方法の工夫などについて情報提供していきます。	19地区部会 203回	29地区部会 278回	37地区部会 343回	37地区部会 343回	(共募) 2,157千円	前年度実績(29地区部会211回)に比べ実施地区部会数、実施回数ともに同数程度でしたが、目標値には至りませんでした。引き続き、活動を継続する地区部会を支援します。	△	推進班
13	多世代交流等の推進 《新規》	いきいきプラザで高齢者だけにとらわれず地域で暮らす多様な方々が交流できる場を設け、地域の仲間づくりを支援し、助けあい、支えあいの意識の啓発に努めます。	地域で暮らす高齢者、障害者、子育て世代等の当事者が参画し、お互いに交流するイベントを開催します。また、共助という観点や地域の方々にも役割を担っていただくという意味合いからもボランティアを養成し、イベントの運営に協力していただきます。	1か所 稲毛いきいきプラザで地域の大人から子どもまでが楽しめるイベントを開催し、各種イベントアースに延べ754人の参加がありました。また、利用者がボランティアとして運営の協力を得ることもでき、住民同士の支え合いの啓発にも繋げることができました。来場者393人(内子ども97人)	2か所 中央区「秋祭り」1,120人 稲毛区「秋祭り」1,573人 花見川区「いきいき喜祭り」902人 美浜区「人と人がつながる」53人 計4,276人	4か所 中央区「喜まつり」1,426人 花見川区「いきいきプラザの夏まつり in hanamigawa」他2回 計4,276人 稲毛区「秋まつり」1,008人 花見川区「いきいき喜祭り」1,573人 「クリスマス」1,386人 美浜区「人と人がつながる」53人 計198人	6か所 中央区「サマーフェスティバル」480人 「秋まつり」884人 花見川区「なつまつり」221人 「オータムフェスティバル」1,114人 「クリスマス会」1,527人、他2回 計3,083人 稲毛区「秋まつり」653人 若葉区「わかほ秋フェス」1,654人 「アートホール大会」38人 緑区「茶道体験」「鑑賞体験」「モルック」「コンサート」等、計13回 実施293人 美浜区「Qフェス」58人		実績として6区で23回、計画通り全区で実施できました。多くの地域の方々に参加していただき、参加・来場された方々にも楽しんでいただきました。いきいきプラザ・センター事業の体験や高齢者福祉の現状等を学ぶ機会とすると共に、いきいきプラザ・センターの目的や事業内容等を周知できました。	○	いきいきプラザ

施策の方向性4 どんな相談にも寄り添う体制をつくる

No.	取組項目	事業概要	取組内容	当初の計画（上段）				R7決算額	R7委員会の評価		所管
				R4実績（下段）	R5実績（下段）	R6実績（下段）	R7実績（下段）				
14	コミュニティソーシャルワーク機能の強化《重点》	「地域共生社会」の実現に向けて、複合化・複雑化した問題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制や住民等が主体的に地域生活課題を把握して解決を試みる体制の構築を図ります。	コミュニティソーシャルワーカーが中心となり、生活自立・仕事相談センターや成年後見支援センターなど関連部署が連携して、支援の手が届かない制度の狭間にいる人たちに寄り添いながら困りごとの解決に向けた支援を行います。	実施 <個別支援> 事例件数 115件 <会議・研修> CSW会議12回 内、CSW事例検討会 2回 内、研修会 1回	実施 <個別支援> 事例件数 90件 <会議・研修> CSW会議12回 内、CSW事例検討会 3回	実施 <個別支援> 事例件数 147件 <会議・研修> CSW会議12回 内、CSW事例検討会 3回	実施 <個別支援> 事例件数 277件 <会議・研修> CSW会議12回 内、CSW事例検討会 3回 他、CSW基礎研修 1回		新規の個別支援は前年度実績（147件）の約1.8倍となりました。 引き続き、地域生活課題の解決に向けた体制の構築を図ってまいります。	○	推進班
15	地域生活課題の解決に向けた支援	高齢者や障害者、生活困窮者など、生活課題を抱える方が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、関係機関と連携して支援します。	<コミュニティソーシャルワーカー> 困難を抱えた方からの相談や地域に出向いた際に得た地域生活課題に対し、ニーズに応じた支えあいの仕組みづくりを行います。 <生活福祉資金の貸付> 住所持世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付けを行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう民生委員・児童委員や自立相談支援機関等の関係機関と連携しながら支援します。 <生活困窮者の自立支援> 千葉市貧困対策アクションプランを踏まえ、包括的な相談支援として、個人に対してワンストップ型の相談窓口により情報・サービスの拠点として機能し、一人ひとりの状況に応じ自立に向けた支援計画を作成し生活困窮者支援を行います。 また、地域ネットワークの強化・社会資源の開発など地域づくりを行います。 <権利擁護支援> 日常生活自立支援事業の実施及び、本会が成年後見人等を委任して判断能力が十分でない方の権利擁護を図ります。 <生活支援コーディネーター> 日常生活圏域で活動する第2層コーディネーターの総合調整、活動支援及び定例会を開催します。地域づくりの推進を目的とした中心的な団体等との連携促進・ネットワーク構築及びシンポジウムや交流会等を開催します。多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携協働を推進するための区域協議体を開催します。	実施 <コミュニティソーシャルワーカー> ・地域資源立ち上げ件数 42件 <生活福祉資金の貸付> ・申請件数 1,229件 ・決定件数 735件 ・決定金額 301,089,100円 <生活困窮者の自立支援> ・新規相談受付件数 926件 ・プラン作成件数 426件 ・関係機関等との会議等782件 <権利擁護支援> ・日常（利用者数） 353人 ・後見（受任件数） 42人 <生活支援コーディネーター> ・毎月、第2層コーディネーターとの定例会を開催 ・区協議体を各校区は年3回、花見川区、稲毛区、緑区、美浜区は年1回開催	実施 <コミュニティソーシャルワーカー> ・地域資源立ち上げ件数 24件 <生活福祉資金の貸付> ・申請件数 359件 ・決定件数 321件 ・決定金額 190,720,100円 <生活困窮者の自立支援> ・新規相談受付件数 914件 ・プラン作成件数 394件 ・関係機関等との会議等 1,235件 <権利擁護支援> ・日常（利用者数） 334人 ・後見（受任件数） 39人 <生活支援コーディネーター> ・毎月、第2層コーディネーターとの定例会を開催 ・区協議体を各校区は年3回、花見川区、稲毛区、緑区、美浜区は年1回開催	実施 <コミュニティソーシャルワーカー> ・地域資源立ち上げ件数 13件 <生活福祉資金の貸付> ・申請件数 290件 ・決定件数 235件 ・決定金額 117,496,000円 <債権管理事業> ・架電件数 5,368件 ・戸別訪問数 1,074件 ・生活相談会延べ参加者数 51名 <権利擁護支援> ・日常（利用者数） 337人 ・後見（受任者数） 37人 <生活支援コーディネーター> ・毎月、第2層コーディネーターとの定例会を開催 ・協議体を下記のとおり設置 花見川：区1、圏域別5 若葉：区2 緑：区1、圏域別1 美浜：区1	実施 <コミュニティソーシャルワーカー> ・地域資源立ち上げ件数 6件 <生活福祉資金の貸付> ・申込件数：242件 ・決定件数：188件 ・決定金額：88,718,600円 <生活困窮者の自立支援> ・新規相談受付件数 978件 ・プラン作成件数 353件 ・関係機関との会議等 2,181件 <権利擁護支援> ・日常（利用者数） 332人 ・後見（受任者数） 39人 <生活支援コーディネーター> ・毎月、第2層コーディネーターとの定例会を開催 ・区協議体を下記のとおり設置 花見川：区1、圏域別4 稲毛：区1 若葉：区1 緑：区1 美浜：区1	<コミュニティソーシャルワーカー> <生活福祉資金の貸付> (受託金) 20,661千円 <債権管理事業> (受託金) 133,627千円 <生活困窮者の自立支援> (受託金) 63,188千円 <権利擁護支援> (市補助・事業収入) 日常 50,007千円 (市補助・事業収入) 後見 12,310千円 <生活支援コーディネーター> (受託金) 25,932千円	<コミュニティソーシャルワーカー> 子ども食堂や認知症カフェなどの居場所づくりを支援しました。 引き続き、地域生活課題の解決に向けて関係機関と連携し、ニーズに応じた支えあいの仕組みづくりを実施していきます。 <生活福祉資金の貸付> 概ね計画どおり進捗しています。 <生活困窮者の自立支援> 概ね計画どおり進捗しています。 <権利擁護支援> 概ね計画どおり進捗しています。	○	推進班 相談支援 仕事C 後見C

